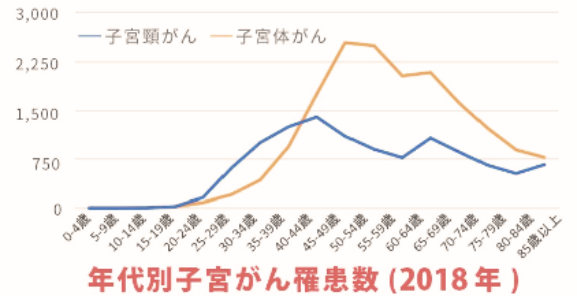


子宮頸がん検診のこと

今や、日本人の2人に1人は罹患すると言われているがん。

若い世代もがんと決して無縁ではありません。若い世代の女性のがんで多いのは、子宮頸がん。早期発見し適切な治療を受ければ、9割以上が治癒するといわれています。がんは初期の段階では自覚症状に乏しいため、検診での早期発見が大切です。

若い世代に多くなっています

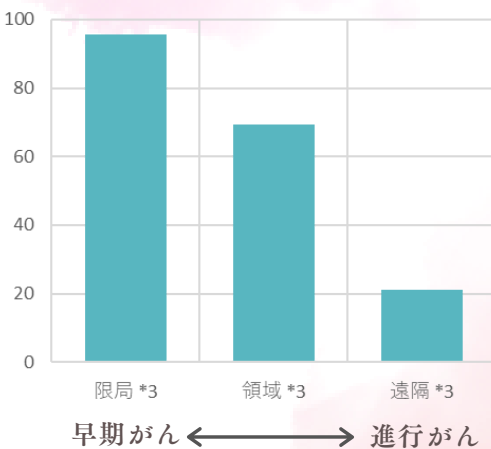


年代別子宮がん罹患数 (2018年)

出典：公益財団法人 がん研究振興財団

「がんの統計2022」

がん進行度別の5年相対生存率



早期がん ← → 進行がん
出典：全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告 (国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター, 2020)

厚生労働省では、子宮頸がん検診は20歳以上で2年に1回の受診を推奨しています。お住いの市町村からお手元に検診案内が届くのものにも関わらず、検診の受診率は子宮頸がん40%台と、まだまだ低い状況にあります。とくに20代の7割は子宮頸がん検診を受診していません。ぜひ機会を逃さずに検診を受けて、早期発見につなげてください。「がんだったら怖いから」とせっかくの早期発見のチャンスを逃さないで。

仕事や学業、家事・育児と、忙しい日々をお過ごしの方が多くかと思えます。しかし、がんは本人だけの問題ではありません。ご家族のためにも、がん検診を受診する時間をぜひ設けてください。

群馬県健康づくり財団の 子宮頸がん検診車のこと

群馬県健康づくり財団では検診車でも、子宮頸がん検診を行っています。検診を受けたことがない方からは、「暗くて怖そう」「プライバシーへの配慮が心配」といった声が聞かれます。そんなことはありません！



検診車では、プライバシーに配慮し個室で一人ずつ検診を行い、医師や検診スタッフからもお顔も見えないよう工夫がされています。一度体験してみてください！

個別の更衣室になっています。



椅子の高さが変わっても顔が見えない二重カーテンです。



完全個室です。

